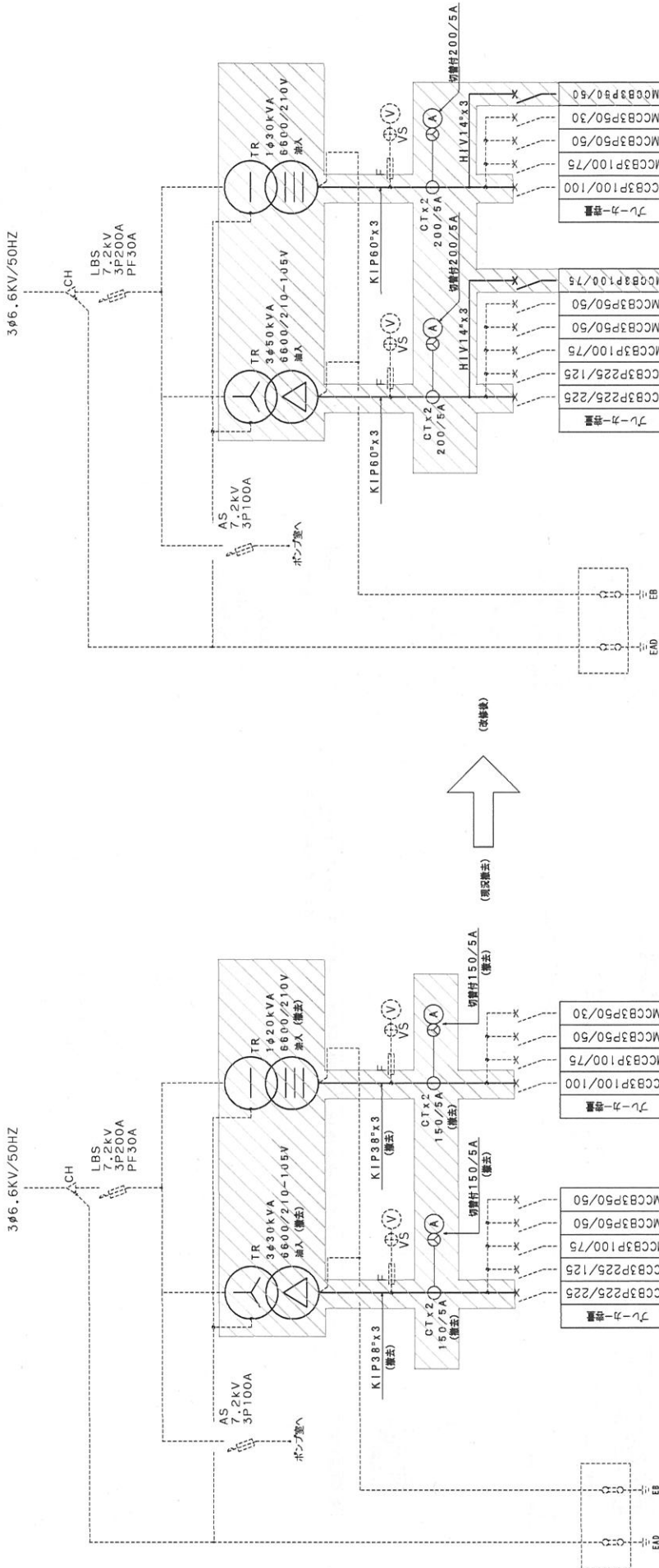


既設母子森キュービクル 撤去・改修結線図



注記・改修内容

1. 図中 〇 部は撤去・改修部分を示す。
2. 既設母線の改修
既設母線は、6KV-210V/105V-20KVAを撤去し、30KVAに改修する。
既設二次側電圧計IP38を60°に改修する。
計測用電圧計(CTx2)、電圧計を既設に改修する。
既設に付属する1-1送電開閉MCCB3P50AF/50ATを増設する。(一次側配線共)
3. 動力回線の改修
既設三相送電6.6KV-210V-30KVAを撤去し、50KVAに改修する。
既設二次側電圧計IP38を60°に改修する。
計測用電圧計(CTx2)、電圧計を既設に改修する。
既設に付属するM-1送電開閉MCCB3P100AF/75ATを撤去する。(一次側配線共)
3. TRは油入トランスランターとし、防炎ゴム(耐電ストッパー付)、ダイヤル選定計を設置する。

低圧動力盤

経路番号	負荷名称	負荷容量	ケ-アルサイズ	ブレーカ-容量
M1	予備	-	-	-
M2	フルボルト	-	-	-
M3	焼却炉	-	-	-
M4	給水ポンプ	-	-	-
M5	送電開閉M-1	-	-	-
M6	送電開閉M-2	-	-	-

低圧電力盤

経路番号	負荷名称	負荷容量	ケ-アルサイズ	ブレーカ-容量
L1	送電開閉M-1	-	-	-
L2	管理室L-1	-	-	-
L3	焼却炉	-	-	-
L4	送電開閉M-2	-	-	-
M5	送電開閉M-1	-	-	-
M6	送電開閉M-2	-	-	-

(キュービクル現況撤去結線図)

(キュービクル改修後結線図)

工務年度	工務内容	工務担当者	工務完了日
2023年度	キュービクル改修工事	〇〇〇	〇〇/〇〇/〇〇
2024年度	キュービクル改修工事	〇〇〇	〇〇/〇〇/〇〇
2025年度	キュービクル改修工事	〇〇〇	〇〇/〇〇/〇〇

工務年度	工務内容	工務担当者	工務完了日
2023年度	キュービクル改修工事	〇〇〇	〇〇/〇〇/〇〇
2024年度	キュービクル改修工事	〇〇〇	〇〇/〇〇/〇〇
2025年度	キュービクル改修工事	〇〇〇	〇〇/〇〇/〇〇

工務年度	工務内容	工務担当者	工務完了日
2023年度	キュービクル改修工事	〇〇〇	〇〇/〇〇/〇〇
2024年度	キュービクル改修工事	〇〇〇	〇〇/〇〇/〇〇
2025年度	キュービクル改修工事	〇〇〇	〇〇/〇〇/〇〇

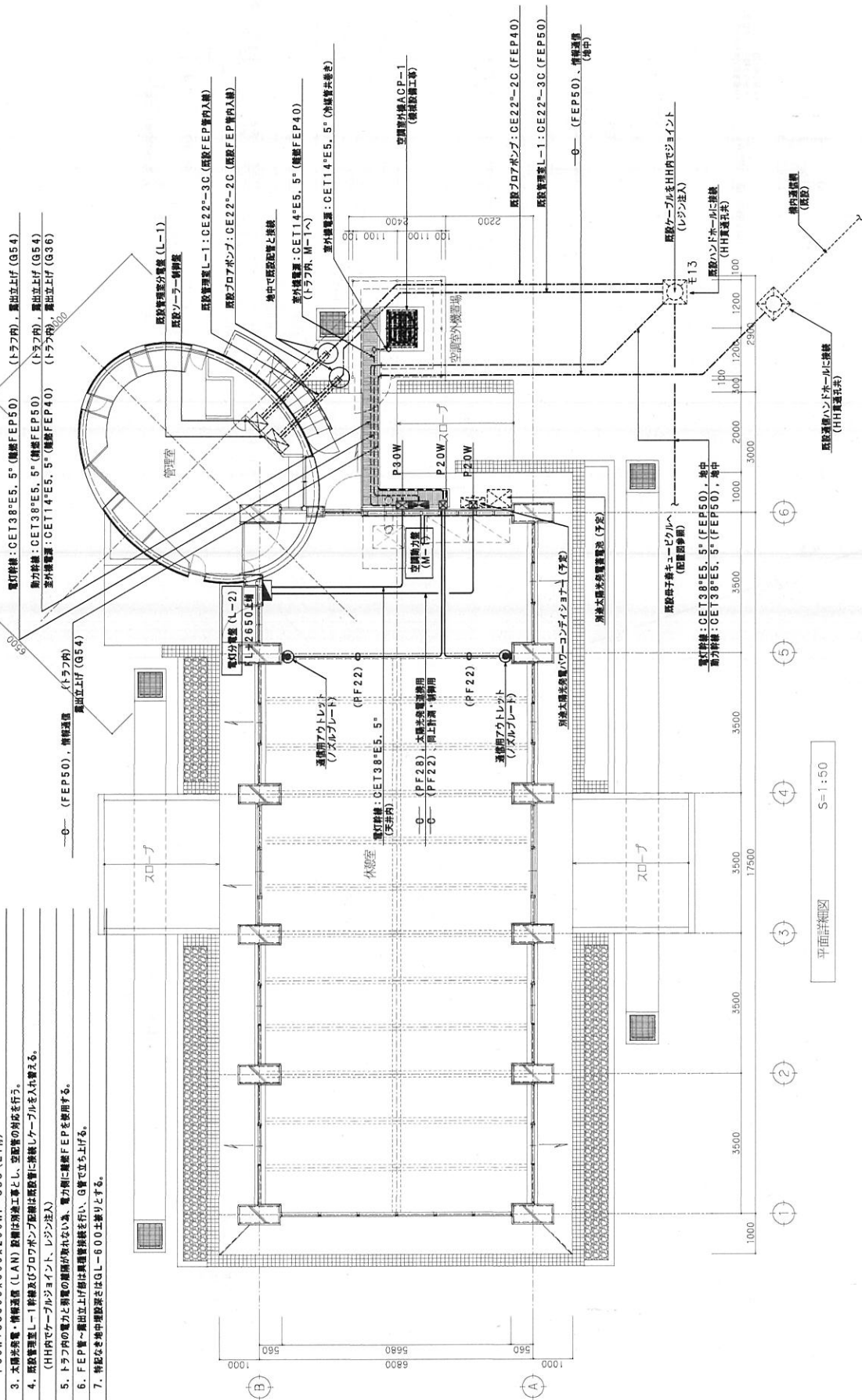
照明器具仕様		西休務室電灯分電盤 (L-2) 屋内配線図		西休務室電灯分電盤 (L-2) 屋内配線図		西休務室電灯分電盤 (L-2) 屋内配線図	
A	素材LEDベースライト	参考寸法: 450Wx600Hx150D	※メーカー標準品 (既製品対応可とする)	参考寸法: 450Wx600Hx150D	※メーカー標準品 (既製品対応可とする)	参考寸法: 450Wx600Hx150D	※メーカー標準品 (既製品対応可とする)
		14-3W-200V/100V/50HZ CET38° (端子箱DBより) 太陽光発電機器へ CT 太陽光発電機器へ CT 太陽光発電機器へ CT		14-3W-200V/100V/50HZ CET38° (端子箱DBより) 太陽光発電機器へ CT 太陽光発電機器へ CT 太陽光発電機器へ CT		14-3W-200V/100V/50HZ CET38° (端子箱DBより) 太陽光発電機器へ CT 太陽光発電機器へ CT 太陽光発電機器へ CT	
A48	公共型: LRS1-4-48LN	14-3W-200V/100V/50HZ CET38° (端子箱DBより) 太陽光発電機器へ CT 太陽光発電機器へ CT 太陽光発電機器へ CT		14-3W-200V/100V/50HZ CET38° (端子箱DBより) 太陽光発電機器へ CT 太陽光発電機器へ CT 太陽光発電機器へ CT		14-3W-200V/100V/50HZ CET38° (端子箱DBより) 太陽光発電機器へ CT 太陽光発電機器へ CT 太陽光発電機器へ CT	
B	LEDダウンライト (埋込穴150φ)	14-3W-200V/100V/50HZ CET38° (端子箱DBより) 太陽光発電機器へ CT 太陽光発電機器へ CT 太陽光発電機器へ CT		14-3W-200V/100V/50HZ CET38° (端子箱DBより) 太陽光発電機器へ CT 太陽光発電機器へ CT 太陽光発電機器へ CT		14-3W-200V/100V/50HZ CET38° (端子箱DBより) 太陽光発電機器へ CT 太陽光発電機器へ CT 太陽光発電機器へ CT	
B17	公共型: LRS1-17LN	14-3W-200V/100V/50HZ CET38° (端子箱DBより) 太陽光発電機器へ CT 太陽光発電機器へ CT 太陽光発電機器へ CT		14-3W-200V/100V/50HZ CET38° (端子箱DBより) 太陽光発電機器へ CT 太陽光発電機器へ CT 太陽光発電機器へ CT		14-3W-200V/100V/50HZ CET38° (端子箱DBより) 太陽光発電機器へ CT 太陽光発電機器へ CT 太陽光発電機器へ CT	
C	センサー内蔵 LED照明フック ラックアップ	14-3W-200V/100V/50HZ CET38° (端子箱DBより) 太陽光発電機器へ CT 太陽光発電機器へ CT 太陽光発電機器へ CT		14-3W-200V/100V/50HZ CET38° (端子箱DBより) 太陽光発電機器へ CT 太陽光発電機器へ CT 太陽光発電機器へ CT		14-3W-200V/100V/50HZ CET38° (端子箱DBより) 太陽光発電機器へ CT 太陽光発電機器へ CT 太陽光発電機器へ CT	
C	参考型番: LGWC80360LE1 (ハテナニツク相当)	14-3W-200V/100V/50HZ CET38° (端子箱DBより) 太陽光発電機器へ CT 太陽光発電機器へ CT 太陽光発電機器へ CT		14-3W-200V/100V/50HZ CET38° (端子箱DBより) 太陽光発電機器へ CT 太陽光発電機器へ CT 太陽光発電機器へ CT		14-3W-200V/100V/50HZ CET38° (端子箱DBより) 太陽光発電機器へ CT 太陽光発電機器へ CT 太陽光発電機器へ CT	

[illegible]



注記

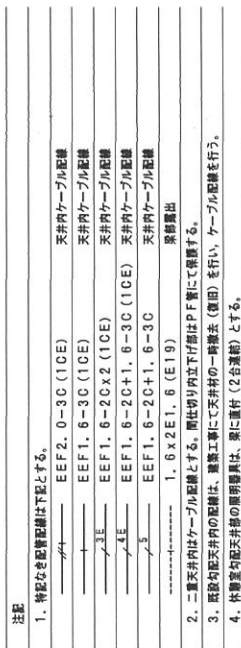
1. 配管用トラフは建築工事とし、電力・通信用配管はトラフ内に布設し隠蔽に納入する。
(トラフの貫通孔は穴埋め工事とする。)
2. 配管径はボルトサイズは下記とする。
P20W: SS200×200×100WP-SUS (ET付) ※側面はET無し
P30W: SS300×300×200WP-SUS (ET付)
P40W: SS400×400×200WP-SUS (ET付) ※側面はET無し
3. 本図は電気・通信用配管 (LAN) 設備は別途工事とし、空配等の対応を行う。
4. 配管管径は1階・2階・3階及びフロア配管は配管に接続してケーブルを挿入する。
(HH内ではケーブルジョイント、レンジ入)
5. トラフ内の電力と通信用の配管は、電力側に通信用FEPを使用する。
6. FEP管へ露出立上げは、通信用FEP管を行い、G管で立ち上げる。
7. 配管径は通信用配管はGL-600とする。



平面詳細図

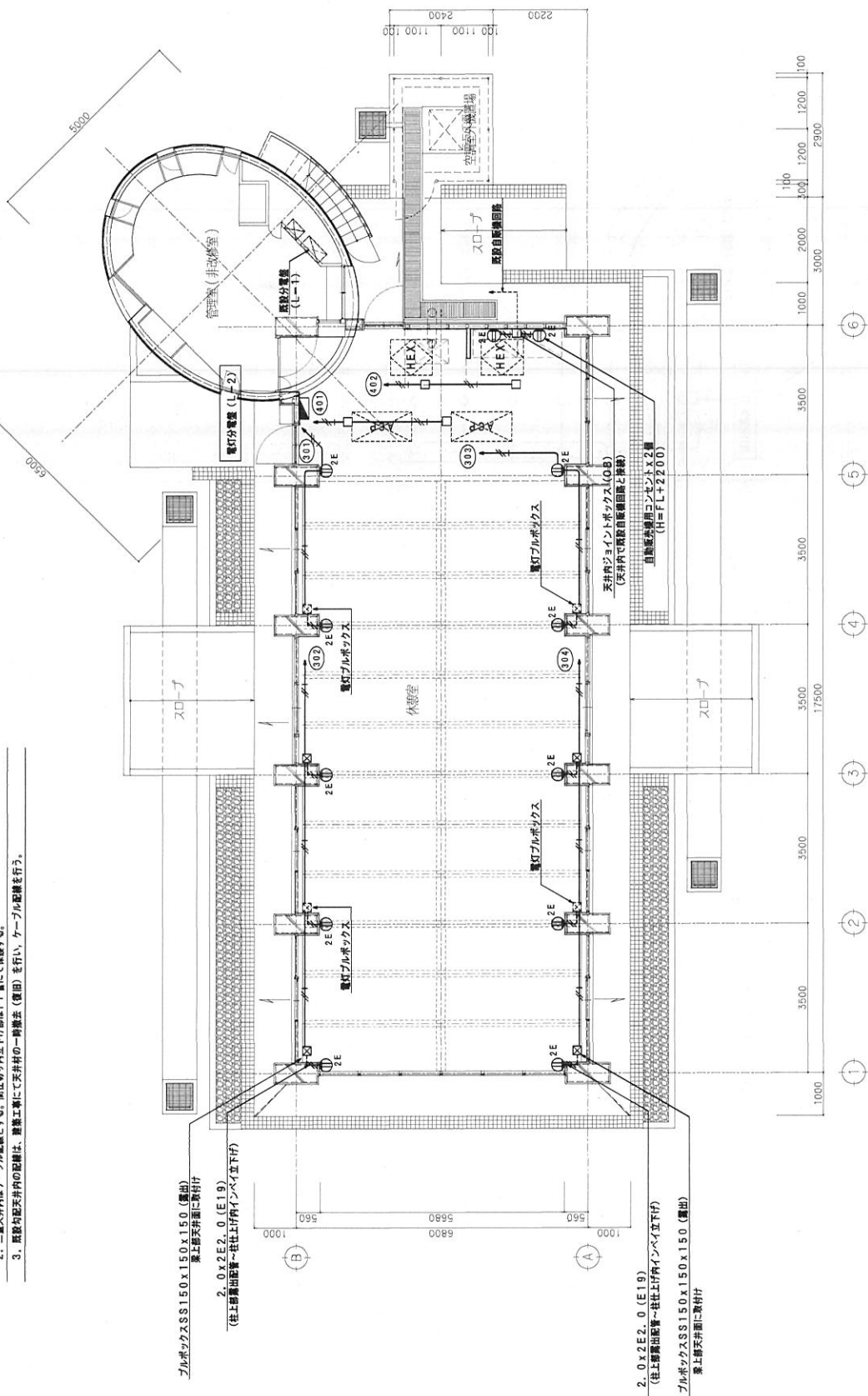
S=1:50

工事名称	電力・通信用配管工事	工事年度	令和 4 年度
工事場所	東京都中央区千代田1-1	図面名称	配管図・通信用配管図
発注機関	東京都建設局	図面番号	1-350/1.1-1000
公称名称	電力・通信用配管工事	設計者	E-05/
検印	管理課長	設計	設計者
		名称	設計者
		資格	設計者
		所任地	設計者

[illegible]

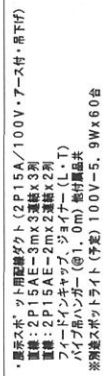


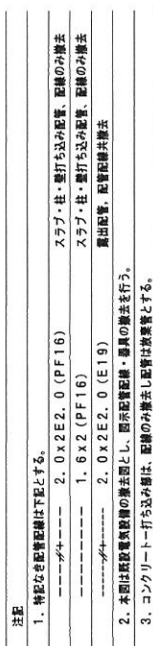
- 注記
1. 特記な配管配線は下記とする。
——— EF2, 0-3C (ICE) 天井内ケーブル配線
----- IE2, 0x2E2, 0 (E19) 露出配管
2. 二重天井内はケーブル配線とする。露出配管内立下げ時はPE管にて保護する。
3. 既設勾配天井内の配管は、新築工事にて天井の一掃撤去（量別）を行い、ケーブル配線を行う。



平面詳細図 S=1:50

工事名称	本社 新築増設改修工事	工事年度	令和 4 年度
工事場所	東京都港区新橋1-1	計画名称	コンテナ設備 増設
発注機関	東京都港湾局港湾局港湾局	図尺	1:50 (A3, 1:100)
公算名称	新築増設	図面番号	E-07 /
図印	管理課 設計	設計者	設計者氏名
		監理者	監理者氏名
		承認者	承認者氏名
		所在地	所在地

[illegible]

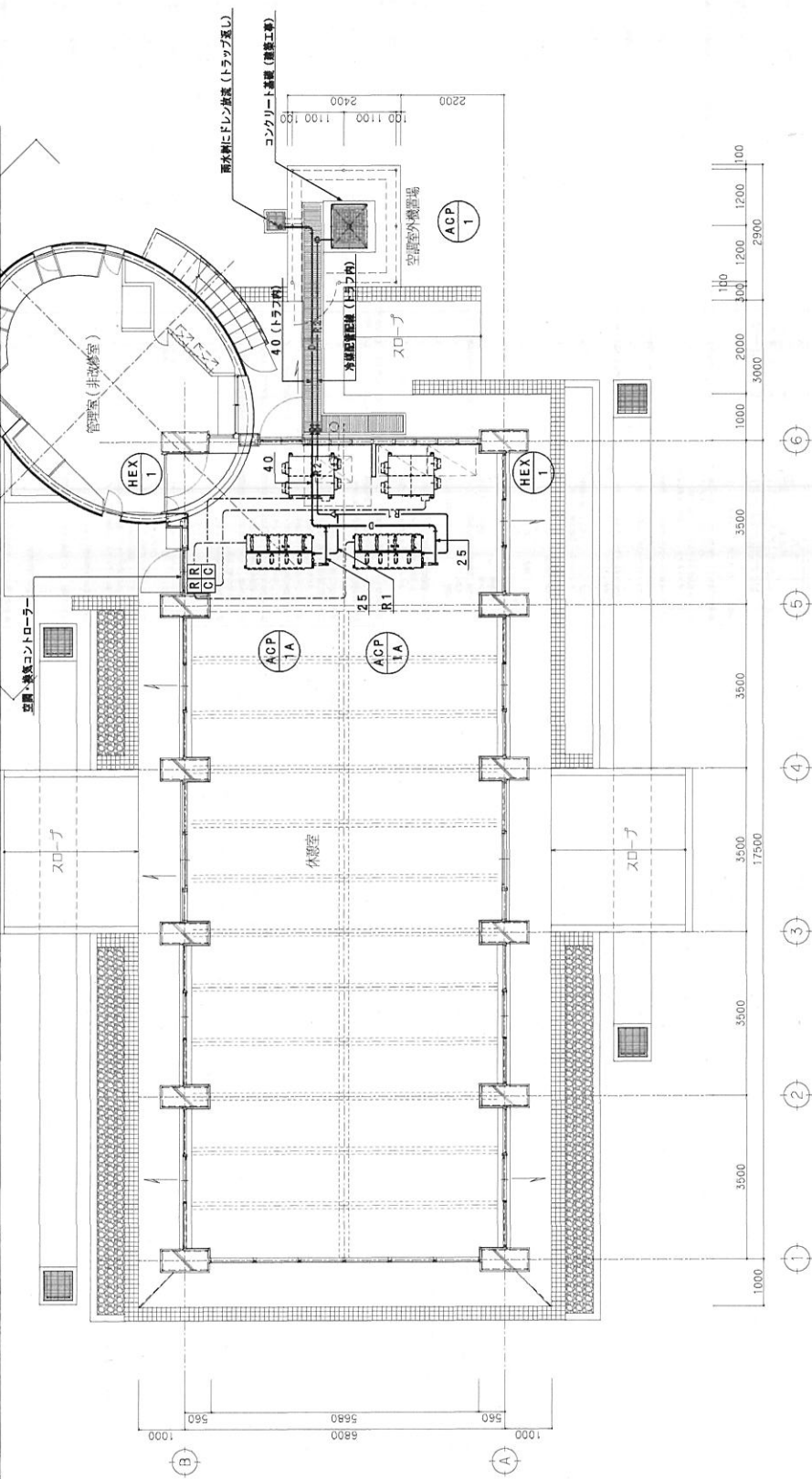


現況撤去図

[illegible]



空調機器リスト		
記号	名称	仕様
ACP-1	室外ヒートポンプ電気式マルチエアコン室外機 (標準)	冷房: 33.5KW, 暖房: 37.5KW (JIS B8616) COMP: 1.0, 7KW, FAN: 1.03KW 付属品: 防露ゴム、外箱分岐接続材等
ACP-1A	同上室内機 (標準)	天井埋込ダクト型 背面吸込 (左・右内チャンバー) 冷房: 16.0KW, 暖房: 18.0KW, FAN: 350W-39.0m3/min (強) 付属品: ワイヤード・コントロール、天吊り防露金具、フレアアップ、背面吸込フィルターチャンバー、ロングライフフィルター等
HEX-1	全熱交換型換気扇 (標準)	天井埋込ダクト型 (マイコン200V) 風量: 800m3/h, 静圧特性: 150Pa (強) コントロール、天吊り防露金具、SUS型パイプ・フード (防虫網付) 200φx2.0



平面詳細図 S=1:50

凡例	名称	仕様	備考
R	外機配管・配線	保温付冷媒用鋼管+室内外張りケーブル	屋外露出はSUS製ラッキング
D	空調ドレン配管	絶縁塩化ビニル (VP)	
R	空調・換気機配線	EM-OEE1, 25°-2C	天井内ケーブル配線、間仕切り内PF (16) で保護する。
C	全熱交換器コントロール		

冷媒配管・ケーブルサイズ		
記号	液管	気管
R1	9.5φ	15.9φ
R2	12.7φ	25.4φ

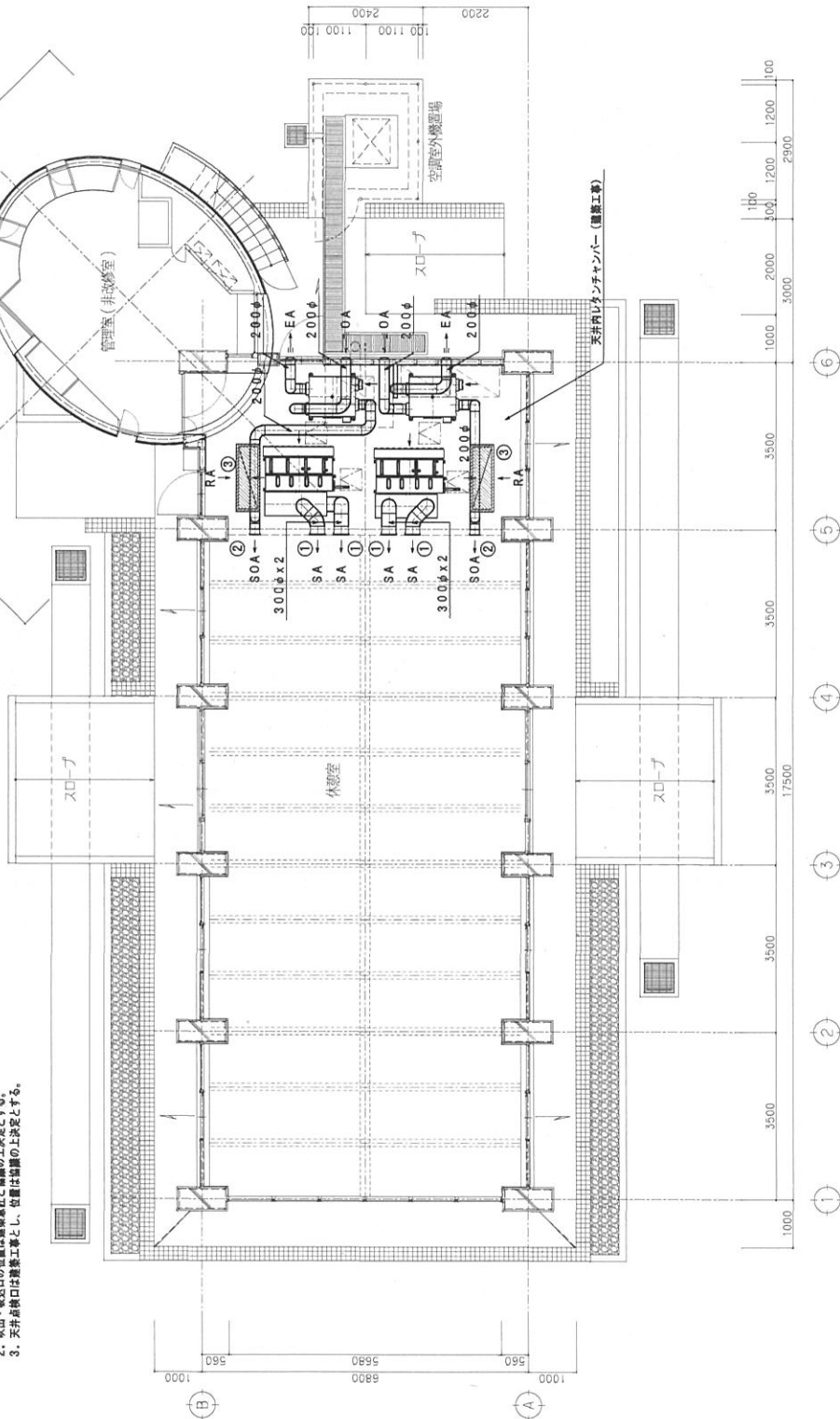
- 注記
- 特記なき冷媒配管サイズは上記を参照
 - 室内張り張り配管は本工事とする。
 - リモコン取付配管工事は本工事とする。
 - (ア) フレックボックス及び空調管立上げまで電気工事
 - ドレン配管はドレンアップを行う。
 - 外機置場外張り露出はSUラッキング、仕上りとする。
 - 空調室内機・全熱交換器の取付支持材は標準工事とする。
- 取付位置等施工図で検討を行い決定する。

工事名称	令和4年度国土交通省補助事業「国土交通省補助事業」
工事年度	令和4年度
工事場所	東京都港区赤坂1-1-1
発注機関	東京都建設局
公団名称	新都市開発株式会社
設計	新都市開発株式会社
監理	新都市開発株式会社
図面番号	M-02/
図面名称	空調設備工事
図面内容	空調設備工事
図面作成	新都市開発株式会社
図面承認	新都市開発株式会社
図面発行	新都市開発株式会社



凡 例	名 称	仕 様	備 考
記 号	空調・換気ダクト	鋼製スライダダクト	SA: 空調吐出, RA: 空調吸入
			SOA: 換気吐出, OA: 外気, EA: 排気
○VD	風量調整ダンパー	丸型	
□	換気ハイパワード	SUS製、高圧フード	防虫網(10M)付

注記
1. 面中ダクトは全て標準 (GW251) を採用すること。(施工困難時は標準付フレキダクト使用可)
2. 吐出・吸引口の位置は建築図と協同の上決定とする。
3. 天井点検口は建築工事とし、位置は協同の上決定とする。



平面詳細図 S=1:50

休憩室 (立上り階段)	
② 空調機出口	4
二重ノズル (350φ) SA=1, 170m ³ /h (換) 換気ダクト300φ H&FL+3760 (左)	
⑥ 全熱交換機	2
二重ノズル (240φ) SOA=600m ³ /h (換) 換気ダクト200φ H&FL+3010 (左)	

休憩室 (天井面)	
③ レタングリル	2
GVS-400x1300 RA=2, 940m ³ /h 天井付換気機* ワックス 500x1400x300H GW251内蔵 (側面開口1000x200x2面)	

工事名称	特別養老ホーム新築工事	工事年度	令和 4 年度
工事場所	東京都中央区新富1丁目	建築名称	特別養老ホーム
発注者	東京都中央区	設計者	1:50 (A1, 1:100)
設計者	株式会社 設計	監理者	M-03/
設計者	代表取締役	監理者	代表取締役
設計者	代表取締役	監理者	代表取締役
設計者	代表取締役	監理者	代表取締役

□モジュールパネルについて
はパネル想定配置を示す。

パネル瞬時出力310Wを想定。
年間想定発電量を5,000kWhを想定（パネル設置環境による低減率を考慮とする）

□発電電力について
発電した電力は自家消費電力として使用する。

[illegible]



太陽光モジュールパネルは鋼板屋根葺き材縦ハゼ立上り部に専用クリップを取付の上設置すること。

工車名	中和 和成新橋南側代橋所並加工工車	工車年度	昭和 4 年度
工車構造	現有新橋区内建第 11	配車工場	大井大橋整備所
工車種類	現有車自他種轉用新造の特殊運搬用所	種別	新造
公算車名	新造車種別	管理用種別	計費 種別
印刷			
		型番	設計
		製造年次	製造年次
		製造場所	製造場所
		所有権	所有権
		備考 2	備考 2

太陽光発電パワーコンディショナ 一般仕様

三相ラインバックマスター (同等品)

装置形式	数量	製品指図書号
パワ-コンディショナ : LBBH-20-T3CR(Li) (同等品)	1S	----
蓄電池盤 (26.5kWh)		----
蓄電池形名 LIM50EL-12S2-F2x6直列 (72セル) x2並列	1S	----
(※蓄電池盤の別置は出来ません。)		

1. 適用規格

この仕様書に記載のない事項は下記の規格を適用するものとします。

- ・日本産規格 (JIS)
- ・電気規格調査会標準規格 (JEC)
- ・日本電機工業会標準規格 (JEM)
- ・電池工業会規格 (SBA)
- ・公共施設工事精進仕様書
- ・電力品質確保に係る系統連系技術要件ガイドライン (令和元年10月7日)
- ・電気設備技術基準
- ・系統連系規程 (JEC9701-2019)
- ・電気設備工事編 (平成31年版)
- ・国土交通省大臣官房官庁営繕部

圖面一覽表

パワー-コンディショナ

項目	SH.No.	図面名称
仕様書	A11	一般仕様
	A21	鋼要・性能仕様 (1)
	A22	性能仕様 (2)
	A23	連系品選定性能仕様
	A24	表示主・子仕様
	A31	右端仕様
	A41	外觀傳達仕様
	A51	警報仕様 (1)
	A52	警報仕様 (2)
	B11	基礎結線図
外形図	C11	外形図
	C31	端子台図

LIBM II 設定表警報回路仕様

E61	蓄電池制御回路図	SL-24172-A51	LBMⅡ設定表蓄電池回路仕様
E71	蓄電池仕様図		

2. 使用環境 装置は下記の環境で使用されます。

周囲温度	-10~40℃
相対湿度	10~90%(結露しないこと)
高さ	機高0~1000mm
耐震	設計震度 水平:1.5、鉛直:0.75 (金属拡張アンカー使用時)
	設計震度 水平:2.0、鉛直:1.0 (接着系アンカー使用時・オプション対応)
設置場所	屋内 (有害ガスをほこりの少ない所、塩分の少ない所、居住空間を除く (直射日光の当たらない所))

注. 高周波音に対して問題が発生する場所には設置しないで下さい。

3. 温度上昇 (温度計法、周囲温度40℃を基準とします。)

主変圧器	コイル部		
リアクトル		耐熱クラスB	70K以下
		耐熱クラスF	90K以下
サイリスタ			65K以下
シリコン整流素子			90K以下
シリコンドロッパ			110K以下
パワートランジスタ			90K以下
配線用しゃ断器			50K以下
ヒューズ			65K以下
電力用整流			150K以下

4. 絶縁

絶縁耐力	交流回路-アース間 直流回路-アース間	50 / 60Hz 50 / 60Hz	AC2000V 1分間 AC2000V 1分間
絶縁抵抗	DC1000Vメガにて		5MΩ以上

注. 電子回路 (半導体プリント板回路) は除く.

5. 予備品

ヒューズ	ユニット内ヒューズを除く（現用同数）

6. パワーコンディショナ付属品

基礎ボルト	M16金属拡張アンカー
取付ボルト (給付ボルト)	一式
ベース	一式
品金具	一式 (壁ボルト付属)
補修塗料	一式

保守点検時の注意事項

電源装置は、多数の電気部品で構成されており、電源装置としての信頼性を維持していくには、各部品が寿命になる前にその部品を交換する必要があります。定期的に保守・点検を実施したことで、通時の電源交換による予防保全を行っていたことができ、これにより、電源装置の信頼性を維持していただきました。ますます精進お願いいたします。

部品交換が実施されない場合は、電源装置の故障や負荷への給電障害が発生する可能性があるばかりか、最悪の場合は全煙・全火等の災害に至る可能性もあります。

[illegible]

(1) 共通項目

444

- 2-14. 自家消費対応機能
本パソコンディビジョンは自家消費対応機能を有しています。太陽電池の余剰電力が発生した場合、逆潮流しないように出力電力を制御することができ、運転モードにて設定可能です。

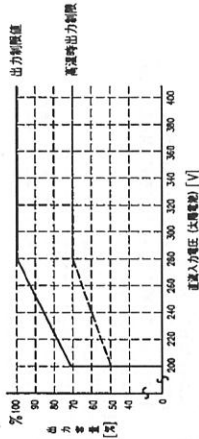
項 目	仕 様	備 考
直流入力	最大電力追従範囲	太陽電池
	入力定格電流	太陽電池
	定格出力	19kW
交流出力	定格容量	20kVA
	出力基本波力率	0.95 相1)
	電流歪率	総合5%以下、各次3%以下
	過負荷耐量	100%
	インバータ方式	電圧型電流制御方式
その他	電力制御方式	最大電力追従制御
	電力変換効率	95.0% (JIS C 8961)
	発生熱量	約3600kJ/h
	絶縁方式	非絶縁方式
	解列方式	内蔵電磁開閉器による
起動条件	440V/10秒	太陽電池開放電圧を監視 (初期値440V)
停止条件	5%/20分	太陽電池全電力を監視

(2) 連系運転

項 目	仕 様	備 考
直流入力	最大電力追従範囲	太陽電池
	入力定格電流	太陽電池
	定格出力	19kW
交流出力	定格容量	20kVA
	出力基本波力率	0.95 相1)
	電流歪率	総合5%以下、各次3%以下
	過負荷耐量	100%
	インバータ方式	電圧型電流制御方式
その他	電力制御方式	最大電力追従制御
	電力変換効率	95.0% (JIS C 8961)
	発生熱量	約3600kJ/h
	絶縁方式	非絶縁方式
	解列方式	内蔵電磁開閉器による
起動条件	440V/10秒	太陽電池開放電圧を監視 (初期値440V)
停止条件	5%/20分	太陽電池全電力を監視

注1) 出荷時設定は力率0.95です。出荷後、力率調整の設定値を変更可能です。0.80~1.00 (0.01刻み)。
環境に設定変更された値は本図には反映されません。

171 中国历史



左図に示すように、直流入力電圧が低下すると、容量低減を行います。尚、高温時出力制限機能動作時は、過負荷耐量を70%に低減します。

系統解列装置
内部タイマー（系統解列装置の外部時計（0.5秒圧注法）により、系統を解列して太陽電池の充電電力を充電庫に貯蓄します）
系統解列装置の出力/差動、系統解列装置のトリガ（内部タイマーまたは外部時計）は選択（出庫時計定量は差動、外部時計）できます。

<内部タイマ>選択時

時刻条件：開始時刻00:00、出庫時間設定、設定範囲00:00~23:59、または終了時刻00:00、出庫時間設定、設定範囲00:00~23:59、またの時刻

開始条件：現在時刻が時刻条件外かつ充電率以外になったとき

終了条件：現在時刻が時刻条件外のとき

電圧低下の警報値が4.16V/週、または蓄電池電圧299V以上、または電圧制御中かつ充電電流13.6A以下の状態を1時間継続、または蓄電池SOC100%に到達

<系統解列式電信号受検時>

開始条件：系統解列式電信号（1φ電圧降伏）をメーク

終了条件：系統解列式電信号（1φ電圧降伏）をオープン

電圧低下の警報値が4.16V/週、または蓄電池電圧299V以上、または電圧制御中かつ充電電流13.6A以下の状態を1時間継続、蓄電池SOC100%に到達

開始条件：自立運転が終了し、系統復電後5分経過

(6) 運動子 - 1

停電対応モード（出荷時設定）
太陽電池電圧を負荷に供給し、太陽電池電圧に余剰が発生した場合、余剰分を系統に出力します。
停電時以外に蓄電池は放電しません。

夜間電力利用モード（選択可）
大規模発電所と蓄電池電力を系統に供給し、太陽電池電力のみで系統が不足した場合は、余剰分を系統に出力します。
太陽電池制御機により、蓄電池電力の逆潮流を防止します。
発電曜日として指定された曜日（印刷時設定は月曜日）に、開始条件に従います。
発電曜日として指定されなかった曜日（印刷時設定は月曜日）に、開始条件に従います。

時刻条件：開始時刻06:00（出所時予定、設定範囲00:00~23:59）から
終了時刻20:45（出所時予定、設定範囲00:00~23:59）までの時刻
間条件：現在時刻が時刻条件外から時刻条件内になったとき

太陽電池電力発電モード（選択可）

太陽電池電力と蓄電池電力を同時に供給し、太陽電池電力のみで余剰が発生した場合は、余剰電力を蓄電池に充電します。

放電電力制御機能により、蓄電池電力の空回りを防止します。

充電曜日設定は月一（出荷時設定は月二）に、開始条件に従います。

時刻条件、開始条件、終止条件、放電時間、放電週期は、夜間電力削減運用同様です。

自家消費モード（選択可）
 太陽電池と蓄電池電力を同時に供給し、太陽電池電力のみで余剰分が発生した場合、余剰分を蓄電池に充電します。
 太陽電池制御機能により、蓄電池電力に充電しても余剰分を蓄電池電力逆潮流を防止します。
 放電履歴日として記録された曜日（出庫時設定は月～日）に、開封条件に達します。

[illegible]

6. 外觀および説明

7. 計測表示画面例

太陽電池	蓄電池	交流	稼働時間	日射・気温	戻る
自機	他機	000. 0V	000. 0A	000. 0kW	
太陽電池電圧	太陽電池電流				

[illegible]

配線仕様様

ユニット内、コネクタ部、電子回路、弱電流回路を除き下記に基づき配線します。

盤內配線方式

- 1) 配線方式
ダクト配線方式及び配線槽方式とします。電線の並列使用が困難な量や渡りバー等の場合は銅バー配線とします。
- 2) 配線の固定部の構造
裏面配線の固定部においては、金属部分が配線を直接挟み込まない構造とします。
- 3) 配線の可動部の構造
扉等の可動部の滑り線には可とう性の配線と、その外周には可とう性の被覆を施します。
- 4) 配線の端子接続方法
・配線の端子部には原則として補正棒端子を使用します。
・圧着端子は原則として汎用を使用します。
・室内配線と外部の接続は原則として、端子番号を記入した端子台又はコネクタで行います。
- 5) 配線の分岐
室内配線の分岐は原則として端子部（器具付属の端子を含む）で行います。
分岐の端子数は原則として1方所で3本以下とします。

拒捕

- 通常の導帯（電線・ブスバー等）は銅を使用します。
- 銅バーは（アースバー除く）ニッケルメッキ（またはハンダメッキ）を施します。

4 使用電線及び電線サイズ

電線の種類 回路の種類 線径 (sq.)	主回路 5.5以上	制御回路 1.25以上	WV(25°C) 2以上	接地回路 2以上	電子回路 0.3以上	備考
電線の種類 線径 (sq.)	○					黒
耐燃性絶縁電線						
ビニル絶縁電線 (VV/KV)		○	○	○	○	黒
キャパタヤケケーブル (2PNCCT)	○	○				
架橋ポリエチレン電線 (KQE)					○	多色ケーブル含む
シールド線 (MVVS)					○	灰
2種ビニル絶縁電線 (HV/HKV)						
耐熱被覆配管用ビニル電線 (UL1007)		○	○		○	
耐熱被覆配管用ビニル電線 (UL1015)		○			○	
半導質ビニル絶縁電線 (UL1061)					○	
高耐熱性ケーブル (2464C R10-C13)					○	

4.4 配線色及び端末色別

回路	相	主回路電線色	端头色	熱回路電線色	端头色	備考
三相交流 (3Ph 3W)	第1相 (R.U.A)	黑	赤	黃		
	第2相 (S.V.B)	黑	白	黃		
	第3相 (T.W.C)	黑	青	黃		
三相交流 (3Ph 4W)	第1相 (R.U.A)	黑	赤	黃		
	第2相 (S.V.B)	黑	黑	黃		
	第3相 (T.W.C)	黑	青	黃		
	中性相 (N.O)	黑	白	黃		
單相交流 (1Ph 2W)	第1相 (R.U.A)	黑	赤	黃		
	第2相 (S.V.B)	黑	白	黃		
單相交流 (1Ph 3W)	第1相 (R.U.A)	黑	赤	黃		
	第2相 (S.V.B)	黑	黑	黃		
	中性相 (N.O)	黑	白	黃		
直 流	正極 (P.+)	黑	赤	黃		
	負極 (N.-)	黑	青	黃		
接 地 回 路		綠	綠	綠		
外部出力信號無電圧回路						
VT-C12 次				黃		

端末处理

用 途	端末色別 (絶縁キャップ)	線 番 号
主 回 路	全 部	なし
制御回路	なし	なし

[illegible]

外觀構造仕様

1 構造材料

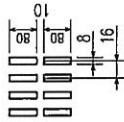
箱体は堅ろうな鋼板製とし、収納部品の質量及び作動による衝撃に十分耐える構造とします。

2 鋼板厚及び換気・点検面

	構造	板厚(mm)	固定方法	換気面	点検面	備 考
前面	扉	2.3	ヒンジ	○	○	
背面	カバー	1.6	セムスピス			
左側面	カバー	1.6	セムスピス			
右側面	カバー	1.6	セムスピス			
天井	—	2.3		○		パワーコンディショナ
天井	カバー	1.6	セムスピス			蓄電池盤
底板	—	2.3				

注: 固定方法にセムス、トラスビス使用時はビス頭がカバーから数mm、ローレットビス使用時は約20mm 突出します。

機器には盤内温度上昇を抑えるため、換気口を設けます。



(1) 換気口の形状
右図の通りとします。

(2) 換気・点検スペース

機器の換気・点検は上表の通りで行うものとして、設計しています。機器は下部吸気、上部排気で換気を行います。

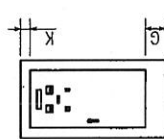
換気面スペース、点検スペースを確保して下さい。

- | | | | |
|--------|------------|---------|---------|
| ・前面操作面 | 1000mm以上 | ・カバ一点検面 | 600mm以上 |
| ・屋付点検面 | 屋幅+200mm以上 | ・換気面 | 200mm以上 |

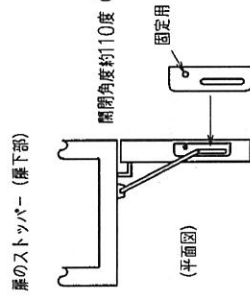
3 扉の構造

扉の開き方式	片開き式	脱着簡易式
扉の固定方法	レバ式	ロッド式
扉のハンドル	A-485-3 (タキゲン防水フラットハンドル キー付No.0200)	
扉のストッパー	下 図 通 り	
扉のすかし	下 図 通 り	

扉のすかし



$K=5\text{mm}$, $G=15\text{mm}$



關閉角度約10度（固定用穴使用時）

4 塗 裝

	塗装色 (マンセル記号)	塗料	備考
配電盤 箱外面	5Y7/1	メラミン焼付	
配電盤 箱内面	5Y7/1	メラミン焼付	
ベース	5Y7/1	メラミン焼付	

注1. 盤外面の塗装膜厚は $30\mu\text{m}$ 以上とします。

5 銘板

機器には下記の銘板を取り付けます。

	材 質	地 色	文字色	備 考
名称銘板	アクリル	乳白	黒	丸ゴジック体
定格銘板	フィルム	乳白	黒	磨裏面取付

注1. 操作・監視する部品に用途銘板を取り付けます。

注2. 部品表示銘板等にはフィルム貼付式を使用します。

注3. 受注者銘板は弊社納入範囲外とします。

6 その他

- ・互鎖口の処理
互鎖口には分割鉄板 (1.6mm) 製のふたを設けビス止めします。
- ・量の接地端子
盤には外部端子のある面に接地端子を設けます。
- ・パワーコンディショナーの主回路外部入線
外部主回路入線は、パワーコンディショナーのブレーカに直接配線します。

[illegible]

[illegible]

*1. 複数バンクシステム時は複数バンク不足検出時に動作。発報後は複数バンク不足解除後もホールド。

＊2. 複数バンクシステム時のみ

※3. LIBMとの通信による信号を受信してからの動作時間。LIBMでの整定時間除く

※4. 異常検出時、一旦運転を停止し、起動条件を確認して運転再開

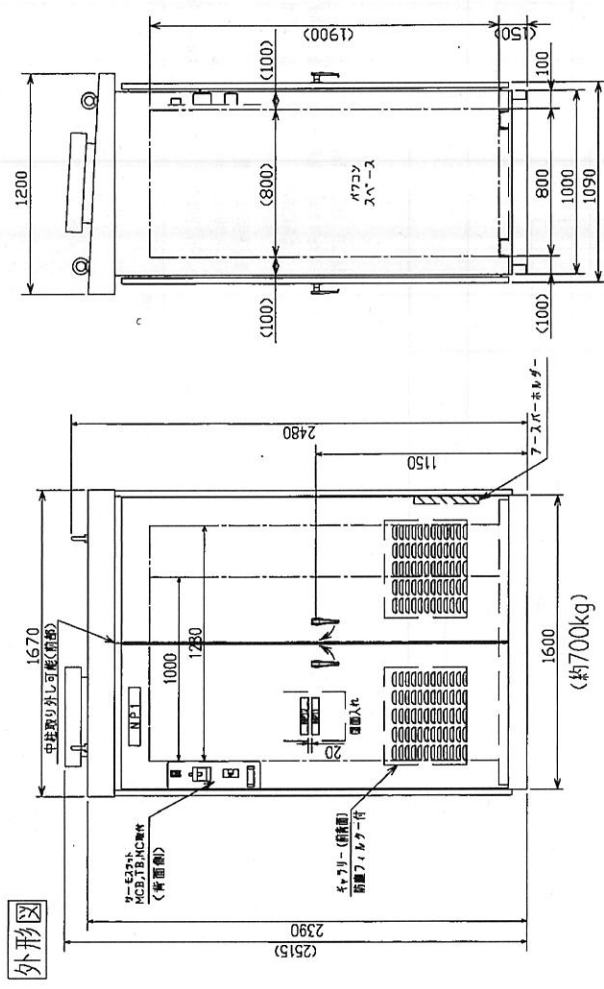
*5. バンクシステムまたはドメイン(BM)信号の異常時はパワーコンディショナ内MCBBをトリップ

*6. 外部トランスデューサあり設定時のみ

備考

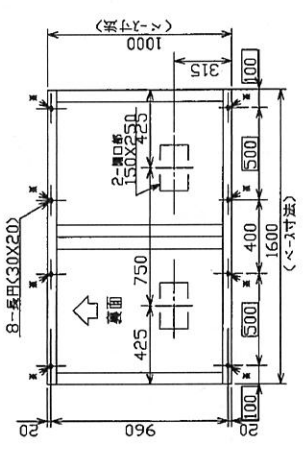
1. 外部書留品はK11-K12, K21-K22, K31-K32は(注記重量: AC125V, 0.1A DC30V, 0.1A)です。
2. 保付の構造は、一層パワーコンディショナの運転スイッチを切り替えてWGBS, WGBQ, WGBBを閉と下下さい。
(交流電源(自立運転時)はパワーコンディショナの運転スイッチを切ることで解除されます)

強風地域に設置する場合は、
報告所中央部柱を取付けてのご使用をおすすめします。

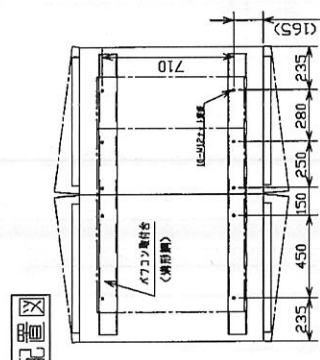


外形図

ベース図



・基礎ボルトは8個付属していますので、ベース図※印の抜き穴の位置に取付けて下さい。
付属基礎ボルト M16 金属板張アンカー
ターボパワーシャー M16×8 付属

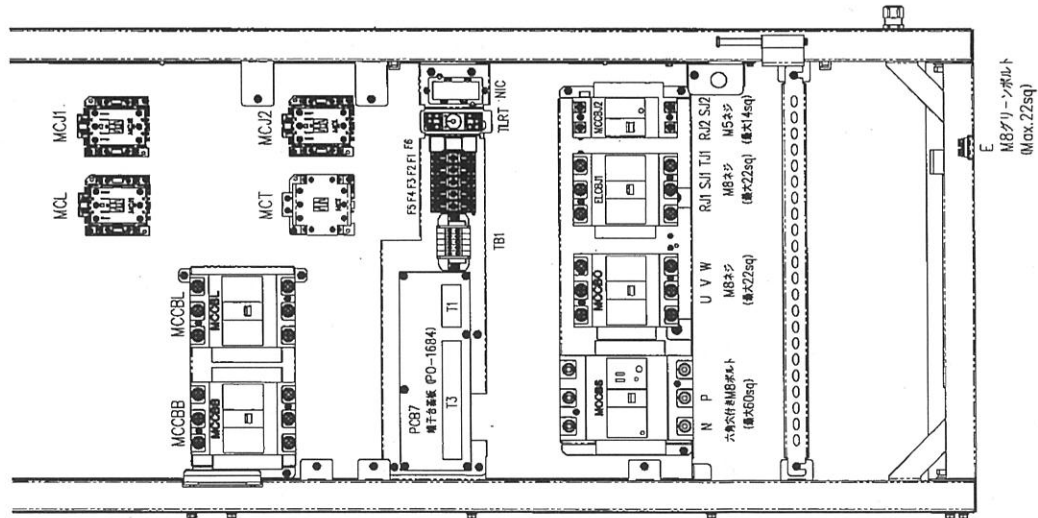


- 注)
- ・屋外キュービクル質量は収納キュービクルの質量を除く、屋外キュービクル単体の質量です。
 - ・チャネルベースを取り外すと屋外キュービクルが歪む可能性があるためチャネルベースは屋外キュービクルから絶対に取り外さないでください。
 - ・基礎はベタ基礎にしてください。
 - ・効率的な換気効果を長期維持するため、フィルターの清掃及び交換を行ってください。
 - ・PCSへの配線完了後、PCS開口部および筐体開口部と電線・ケーブルの隙間は、パテなどで埋めてください。
 - ・IP23相当

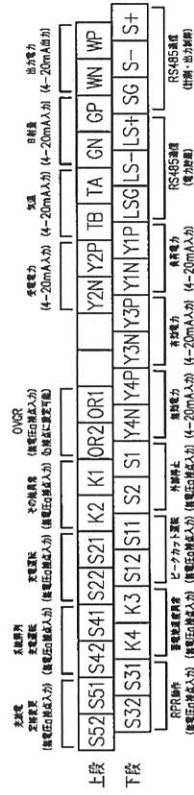
NP1 : 「パワーコンディショナ」 (315×63×31 アクリル 貼付)
NP11 : 「蓄電池設備」 (200×40×0.1t シール 貼付)
NP12 : 「リチウムイオン」 (200×40×0.1t シール 貼付)

工事名称	中核・付帯工事	工事内容	工事費	工期
工事場所	電力会社管内	電力会社管内	電力会社管内	電力会社管内
工事種別	電力会社管内	電力会社管内	電力会社管内	電力会社管内
工事内容	電力会社管内	電力会社管内	電力会社管内	電力会社管内
工事費	電力会社管内	電力会社管内	電力会社管内	電力会社管内
工期	電力会社管内	電力会社管内	電力会社管内	電力会社管内
備考	電力会社管内	電力会社管内	電力会社管内	電力会社管内

＜入出力部配置図（内部カバーなし）＞



端子台基板端子台T3:電線1.25sq Max, M3ネジ



端子台基板端子台T1:電線1.25sq Max, M3ネジ



端子台TB1:電線1.25sq Max, M3ネジ



工事名称	令和4年度新築郡民体育館改修工事	工事年度	令和4	年度
工事場所	東筑前郡佐賀市佐賀1-11	図面名称	図面名	建築図シブシム
建築用途	市営体育施設	図面種類	概略	建築図シブシム (参考) (12)
公表名称	新築体育館	図面番号	図面番号	多量に
備考	管理施設が士 設計 改修	図面備考	図面備考	
		資料番号	資料番号	
		所在地	所在地	

